

平成30年度 輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成30年7月31日

農林水産省

食料産業局長 殿

全農インターナショナル株式会社
米穀・園芸部

平成30年度海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 ： 香港

実施期間 ： 平成30年 7月20日～7月22日

（フェアに係る出張 ： 平成30年 7月18日～7月21日）



「香港 大昌貿易行 JA全農フェア」

香港販売促進活動

1. 『大昌貿易行 J A全農フェア』について

- (1) 期間 : 平成30年7月20日(金)～7月22日(日)
- (2) 場所 : 大昌貿易行 各店舗(麗港城店 & 健威坊店 & 海怡広場店) 青果物販売コーナー
- (3) 出席者 : 大昌貿易行 雷次長
Dah Chong Hong Holdings Limited 管氏
全農インターナショナル米穀・園芸部 山口
- (4) 内容 : 香港での人気定番化している桃が旬を迎えることから、桃を主軸にすえて、
現地での販売・PR活動を展開した。
またかねてより香港で普及・拡販を行っている、秋田県産メロンについても、
PRを行い、更なる販売拡大を図った。
- (5) 販売青果物
桃(山梨県産・岡山県産)、メロン(秋田県産)等の果物、野菜 (別紙)
- (6) 出荷日程
7月12日 東京→香港 船便
7月18～19日 大昌貿易行 各店舗に到着
- (7) 着荷状況
すべての商品はほぼ良好であった。

2. 大昌貿易行での「JA全農フェア」実施

- (1) 期間 : 平成30年7月20日(金) 10:00~17:00(大昌貿易行 本社・内販)
平成30年7月21日(土) 10:00~17:00(大昌貿易行 麗港城店・健威坊店)
平成30年7月22日(日) 10:00~18:00(大昌貿易行海怡広場店)
- (2) 場所 : 大昌貿易行 本社および各店舗
- (3) 内容 :

大昌貿易行は香港内に約30店のスーパーマーケットを持ち、小売り事業の他にも機械製品の輸入等。多角的事業を展開する現地の老舗企業。

これまでも同社店舗での全農フェアを実施してきたが、今回は同社本社での内部販売も行った。内部販売は同社および同社ビル在勤のビジネスマンが客層の中心になる為、限られたターゲットにはなるが、その反面、経済力のある客層であるため、売れ行きも好調であるまた、今回は香港でも既に人気のある旬の桃に加えて、今後さらなる輸出拡大を図りたい品目、秋田のメロンも加えたラインナップを組んで、PR活動を展開した。



大昌貿易行本社での内部販売の様子

商品リスト

青果物	種類	産地 (本部名)	等階級 (規格)	容量・入数	箱重量 (kg)	荷姿	Order Quantity (箱単位)
果物	ハウスシャインマスカット	山梨	400g	10入	4.0	ダンボール	1
	大玉スイカ	鳥取	4L(2玉)		15.0	ダンボール	2
	デラウェア	島根	270g	4入	1.0	ダンボール	10
	プラム(大石早生)	山形	500g	10入	4.0	ダンボール	20
	プラム(ルルダム)	山梨・和歌山	500g or 700g	8入	4.0	ダンボール	20
	プラム(菅野中生)	山梨	500g	8入	4.0	ダンボール	10
	桃	山梨	秀	15玉	5.0	ダンボール	100
	桃	山梨	秀	16玉	5.0	ダンボール	100
	桃	山梨	秀	18玉	5.0	ダンボール	15
	桃	岡山	秀	12玉・13玉	4.0	ダンボール	72
	桃	岡山	秀	14玉・15玉	4.0	ダンボール	
	秋田美人メロン	秋田	秀2L	5玉	5.3	ダンボール	28
	レノンレッド	秋田	秀2L	5玉	5.3	ダンボール	52
野菜	キュウリ	岩手	AS	50本	5.0	ダンボール	5
	キャベツ	宮城・青森・岩手	L	8玉	10.0	ダンボール	5
	白菜	長野	L	4玉	10.0	ダンボール	10
	たまねぎ	兵庫・佐賀	L	約70玉	20.0	ダンボール	5
	大根	青森・北海道	L	10本	10.0	ダンボール	5
	白しめじ(ブナピー)	長野・静岡・新潟(ホクト)		100g×30入	3.0	ダンボール	15
	人参	青森	M	約70本	10.0	ダンボール	5
	こだわり南瓜	神奈川	秀	8個	10.0	ダンボール	30
	えのき	新潟	A	200g×30入	6.0	ダンボール	20
	ぶなしめじ	新潟	A	170g×20入	3.4	ダンボール	15
	新甘藷	宮崎	S以下	500g袋×20入	10.0	ダンボール	100
							645



大昌貿易行 麗港城店での販売



大昌貿易行 本店での内販
試食により、多数販売。



大昌貿易行 健威坊店での販促
日本産果物ポスターでPR



大昌貿易行 麗港城店での販促
試食提供で好評を博す



大昌貿易行 海怡広場店での販促



日本果実のハッピを着て目立つように設置。



店頭での販促により、立ち寄る人が多く見られた。



日本産を前面に出すことにより、他の桃と異なる「水蜜桃」であることをプッシュ



メロンについても、赤肉、緑肉を用意し、嗜好を比較調査した。

3. 大昌貿易行との打ち合わせ

(1)日時 :平成30年7月19日(木)

(2)場所 :大昌貿易行 本社内

(3)内容 :

大昌貿易行本社のバイヤーと輸出商品の着荷状況の確認、今後の販売拡大及びフェア実施計画について打ち合わせをおこなった。

また同時に、今後の香港の直近の需要期(中秋節)に向けての具体的な打ち合わせを行った。

4. 所感

香港での日本産果物の人気はかなり定着化していることは変わらないが、これまで以上に日本産桃の人気が高いレベルを維持していることを再認識した。特に、名称が「日本水蜜桃」と名づけられているように、他国産とは明らかに異なる消費者イメージが定着しているように思える。

PRを図った秋田産メロンについては、再度評価を確認する意味で昨年同様に緑肉・赤肉の2種類を用意した。

5. 今後の進め方

○今年度最後の全農フェアはあと2～3回(10月、12月 or 1月)計画している。

今回の経験を活かして、よりお客様に喜ばれる品目を提案したい。

○特に果物にフォーカスが当てられやすい香港市場であるが、今年度は冬に鍋需要を見込んで野菜フェアを行うことを検討している。

○10月には、梨を含む秋品目のフェアを実施し、中秋節後の需要を調査する。